

肢体不自由特別支援学校におけるICT活用に関する状況調査

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

障害種別特定研究「肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究」

研究代表者 吉川知夫

肢体不自由教育においては、これまでも障害特性から身体の動きや意思の表出の状態等に応じて適切な補助具や補助的手段を工夫するとともに、コンピュータ等のICT機器などを活用した指導が展開されてきました。GIGAスクール構想においては、ICT機器の活用が障害特性の配慮に留まることなく、資質・能力の育成との関係から効果的な活用の在り方を追究するとともに、教師の指導力向上を図ることが求められています。また、障害のある子供たちの自立と社会参加に向けて、学校教育を通じて身に付けた力を活用し、もてる力を最大限伸ばすことができるように取り組むことが重要です。

そこで本研究では、肢体不自由の障害特性を踏まえながら学習指導要領に示される資質・能力の育成を目指したICT機器を活用した各教科等における授業に焦点をあて、効果的な指導方法や教材・教具の活用、それを支える教員研修に係る情報を収集する。そして、それぞれの取組の成果や効果、課題等を整理して、地方自治体や教育現場の取組に役立つ知見を提供することを目指します。

本調査は、肢体不自由特別支援学校におけるICTを活用した指導の現状と課題を整理するために質問紙調査を行うものであり、本研究で取り上げる実践事例の根拠を得るための基礎的資料とするものです。

調査により得られた情報は、本研究のための資料として用い、その研究成果は学会や報告書、Webサイト等で公表する予定です。ご回答いただいた情報は数値化等の処理を行い、個人名や学校名は匿名とするため、個人情報が増えることは一切ありません。また、回収した調査結果は厳重に保管し、研究目的以外で使用することは一切ありません。

本調査の趣旨をご理解の上、調査への協力に同意していただける場合は、以下の「I ご回答者について」から回答を開始して下さい。回答開始をもって、研究協力への同意をいただいたものとします。

※本調査における「ICTの活用」とは、GIGAスクール構想による1人1台端末と高速インターネットに接続された環境のもと、児童生徒一人ひとりの障害の特性に対応した入出力を支援する機器（以下、支援機器）等を用いるなど、効果的に資質・能力の育成を目指して学校や家庭で行われる教育活動のことです。

本調査は、貴校におけるICTの活用について全般的に状況を把握している教職員の方（管理職、ICT活用の推進リーダーの役割を担われている方、担当校務分掌の方）に回答をお願いいたします。

*「□」をクリックして「選択」してください。

*小さな「()」には、数字(半角)をご記入ください。

*大きな「()」と には、文字を入力してください。

*令和5年5月1日現在の状況でご回答ください

I ご回答者について

I-1 ご回答いただいた方のお名前をご記入ください。[必須]

1-2 ご回答いただいた方の職名をご記入ください。(ICT活用の推進リーダーや分掌の担当があれば記載してください。)[必須]

職名:()

- 管理職
- ICT活用の推進リーダー
- その他 ()

2 学校に関する基本情報

2-1 学校名を都道府県からご記入ください。分校の場合は、分校名までご記入ください。[必須]

3 学校におけるICTの活用の推進状況

3-1 以下の図は、令和3~4年度 重点課題研究「ICTを活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究」の研究成果(特に、各校から聞き取りをした情報「どのようにして先進校となることができたのか」、「実践の特色や成果等」)を分析・整理してまとめた、ICTを活用した教育の推進のために必要な項目とその関連を示したものです。図に書かれた内容のうち(ア)(カ)(キ)の3つについて伺います。自校で(できている から できていないまでの4段階)のいずれかに○をつけてください。

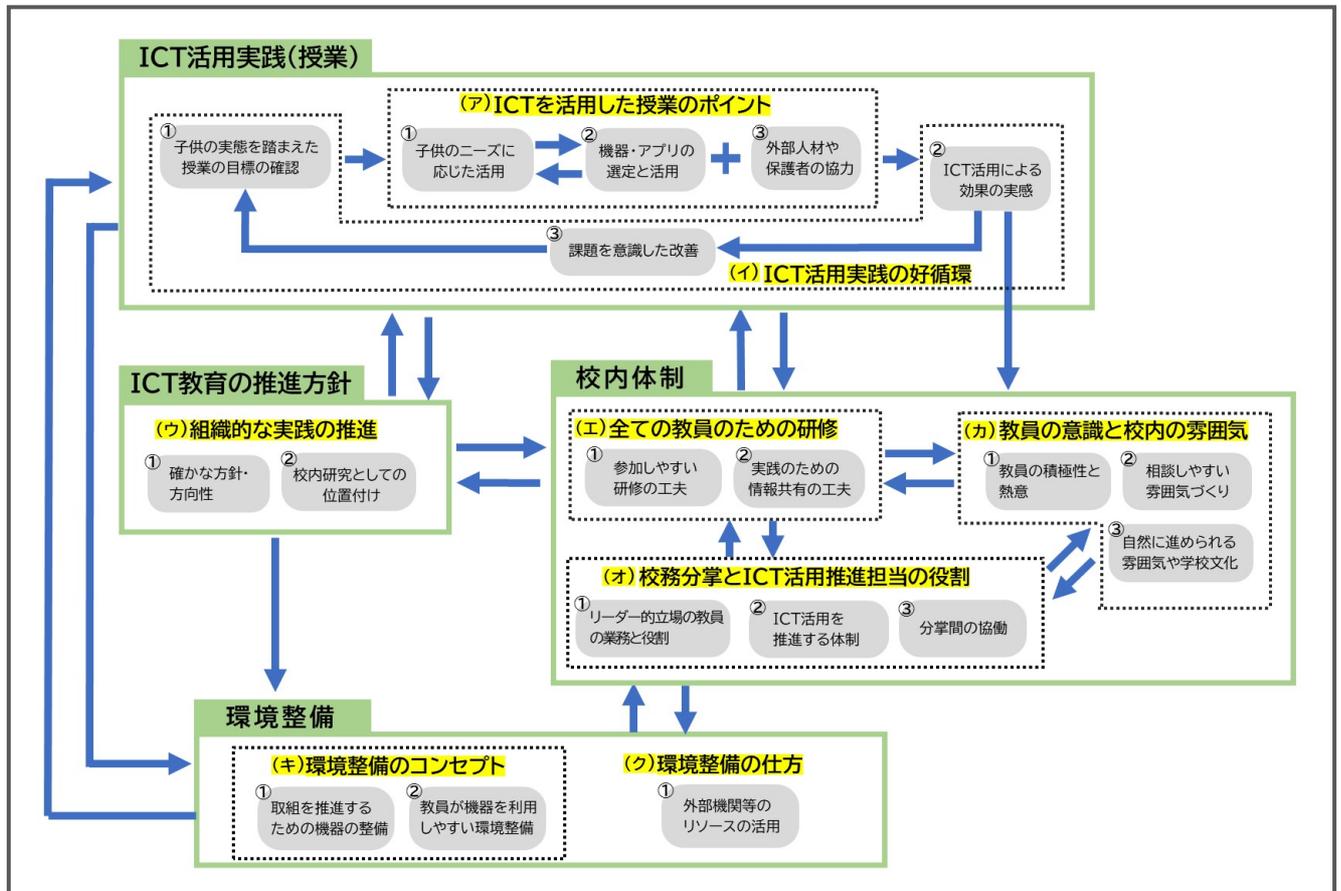


図1 ICTを活用した教育の先進校の実践を集約して作成した推進マップ「いかに先進校となったのか」

(ア) ICTを活用した授業のポイント

説明:一人一人の子供の合理的配慮を含む具体的な教育的ニーズを出発点に、指導のねらいや指導内容を達成するための、その子供に応じた機器やアプリを選定して活用している。

① 子供のニーズに応じた活用

該当例:ICTの活用について個別の教育支援計画や個別の指導計画に明記している。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

② 機器・アプリの選定と活用

該当例:学校としてさまざまな機器・アプリを選定・導入して授業に積極的に活用している。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

③ 外部人材や保護者との協力・連携

該当例:子供にとってのよりよい機器の活用方法の検討や、効果・実践の成果の検証・確認をするために必要に応じて外部人材と連携したり、子供が身に付けた力を家庭等の生活の中でも発揮していくために保護者との情報共有や連携、協力を深めたりしている。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

(カ) 教員の意識と校内の雰囲気

説明:ICT活用を積極的、継続的に進めていくためには、疑問点などを質問しやすく、身近な教員同士で気軽に教え合ったりする校内の雰囲気づくりや、ICT担当者もできる限り全体で情報を共有し、早期に解決できるように取り組んでいくことが、教員全体の底上げにつながる。

① 継続につながる積極性と熱意

該当例:さまざまな事情で登校できなかった子供の不安やもどかしさを、少しでも解消したいなどの理由でオンラインでの学習に取り組む例、ICT機器を子供の指導に還元できるようにしたいという意識などがある。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

② 分掌の相談しやすい雰囲気

該当例:分掌の担当者が身近にいて授業の計画から実践までアドバイスしたり、相談内容によって、相談できる人が校内に複数いる体制があったりする。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

③ 自然に進められる雰囲気や学校文化の醸成

該当例:機器を導入して、しばらくは教員が自由に、機器に触れいろいろと試してみる期間を設けている。機器のあることが当たり前になり、教員同士の教え合いが自然と生まれている。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

(キ) 環境整備のコンセプト

説明:子供が必要な時にすぐに使用できるような機器等の数や環境、教員が教材研究をしたり、すぐに指導に活用できるような利用しやすい管理方法などをそれぞれの学校の状況に応じた工夫がある。

① 取組をするための機器の整備

該当例:ICT活用の取組を推進するために必要となる障害に応じた入出力機器や固定具を含めた機器の整備が、学校や設置者により進められている。校内では管理方法の工夫など利用しやすい環境整備が行われている。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

② 教員が機器を利用しやすい環境整備

該当例:機器の活用状況の一覧表を作成することで、どの機器が何の目的で使用されているのか、など、他の教員の活用の参考となっている。自立活動におけるICT活用をはじめ、必要な専用の機器や設備がすぐに使えるような部屋を用意するなど、利用しやすい環境を工夫をしている。

4-----3-----2-----1

学校全体として できている ややできている あまりできていない できていない

3-2 以上の設問に当てはまる内容で、貴校の特色ある取組がありましたら、以下に概要やポイントを具体的にお書きください。

4 教科学習におけるICT活用について

4-1 「準ずる教育課程」で学んでいる児童生徒に関して伺います。以下の項目について、児童生徒自身が学習活動の中でICTを使用している教科に☑を入れ、使用者数を記入してください(複数回答可)。

該当する在籍児童生徒数

・小学部()名・中学部()名・高等部()名

- 国語 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 社会/地理歴史/公民 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 算数/数学 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 生活 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 理科 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 外国語/外国語活動 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 音楽 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 図画工作/美術/芸術 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 体育/保健体育 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 家庭/技術・家庭 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 情報 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))
- 道徳科 (使用者数 小学部()名 中学部()名 高等部()名))

4-2 4-1のうち、学習者用デジタル教科書を児童生徒自身が使用している教科に☑を入れ、使用者数を入れてください(複数回答可)。

- | | | | | |
|------------------------------------|-------|---------|---------|-----------|
| <input type="checkbox"/> 国語 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 社会 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 算数/数学 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 生活 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 理科 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 音楽 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |
| <input type="checkbox"/> 道徳科 | (使用者数 | 小学部()名 | 中学部()名 | 高等部()名)) |

4-3 「特別支援学校(知的障害)の各教科等及び自立活動」「自立活動を主として指導する」教育課程で学んでいる児童生徒に関して伺います。以下の項目について、児童生徒自身が学習活動の中でICTを使用している教科に☑を入れてください(複数回答可)。

該当する在籍児童生徒数

・小学部()名 ・中学部()名 ・高等部()名

- | | | | | |
|---------|-----------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 国語 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 社会 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 算数/数学 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 生活 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 理科 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 外国語 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 音楽 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 図画工作/美術 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 体育/保健体育 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 職業・家庭 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 情報 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |
| 道徳科 | (使用している学部 | <input type="checkbox"/> 小学部 | <input type="checkbox"/> 中学部 | <input type="checkbox"/> 高等部) |

4-4 上記の4-1、4-2、4-3について特色ある取組について教えてください。(授業での取組実践など)

5 児童生徒の学校卒業後を意識したICT活用について

5-1 児童生徒が卒業後にICTを活用することができるように工夫していることを教えてください(複数回答可)

- 1人1台端末の学校外での活用
 - 家庭への持ち帰り
 - その他の利用
具体的に()
- 学習データの学校外での活用
データをクラウド上に保存し、家庭等からアクセスしての活用など
- 保護者との情報共有
 - 児童生徒の活用の仕方について
 - 児童生徒の家庭等での活用の状況について
 - その他()
- 保護者への支援
 - 保護者向けの研修等の実施
 - マニュアルの配布
 - 相談窓口の設置
 - その他()
- 放課後等デイサービスとの連携
 - 職員との情報交換
- その他()

5-2 以上の設問に当てはまる内容で、貴校の特色ある取組がありましたら、以下に概要やポイントを具体的にお書きください(授業での取組実践など)。

6 自立活動におけるICT活用について

特色ある取組(視線入力装置などの障害の特性に応じた入出力機器の活用を含む。)について教えてください。

7 校内研修等の工夫について

7-1 ニーズに応じて参加しやすい研修の工夫や実践のための情報共有について教えてください。(複数選択)

- アンケート調査などにより教員のニーズを把握している
- 内容や難易度を選択できるようにしている
- 短時間(15分間程度)の研修会を設定するなど参加しやすくしている

- 実際に機器を操作する演習を取り入れている
- ICT活用についてグループウェアの活用や対面での定期的な情報交換会有一些がある
- 使用した教材などをデータとして蓄積し引き継ぎができています
- その他()

7-2 肢体不自由教育におけるICTの活用を推進するために、学校の現状を踏まえて回答者が重要と考える研修の内容を教えてください。(複数選択)

- 施策・法令
- OSのアクセシビリティ
- 機器の操作(障害の特性に応じた入出力機器を含む。)
- アプリの操作活用
- 教材作成(アプリを含む。)
- 授業づくり
- プログラミング
- 遠隔教育
- 先進事例紹介
- その他()

8 センターの機能について

8-1 貴校のセンター的機能として、令和4年度中に小・中学校等(幼稚園・保育所、高等学校を含む)から肢体不自由教育におけるICTの活用について、研修講師派遣依頼や指導・支援に関する相談はありましたか。[必須]

- あり
- なし

8-2 上記8-1で「あり」と回答された学校への質問です。研修及び相談内容について、お答えください。8-3に、その中でも特に、特徴的な研修及び相談内容について、ご記入ください。

- ICTの活用に関する研修(研修内容:)
- 指導・支援の相談内容(以下より選択してください。複数回答可。)
 - 意思伝達支援
 - 遠隔コミュニケーション支援
 - 情報入手支援
 - 機器操作支援
 - スケジュール・時間管理支援
 - 教科学習支援
 - 認知発達支援
 - 社会生活支援
 - 実態把握支援
 - その他()

8-3 特徴的な研修及び相談内容について教えてください。

記入例：

- ・中学校教員を対象とした研修で、障害の特性に応じた支援について、ICT機器を実際に体験できるワークショップを行った。
- ・知的代替教育課程で学ぶ、車椅子を使用している小学校2年生（特別支援学級）。机上に置かれたタブレット端末に目を近づけて操作するため、姿勢が崩れることが多かったが、タブレット端末を傾斜台に置くことで、体幹が安定し、操作がしやすくなるようアドバイスを行った。

9 大学、高専、工業高等学校、医療機関、リハビリテーションセンターなどの外部機関とICT活用に関する連携を行っている場合には、その内容を教えてください。

10 聞き取り調査にご協力頂くことの可否について教えてください。

- 可
- 否

11 上記の設問で記載できなかった特色ある取組や今後の計画など、ご自由にお書きください。

ご協力、ありがとうございました